

特長

クラパッドの両面には荷重が増加するにしたがって受圧面積が増えるように直径と高さの異なる4つの突起の配列が設けられています。

軽荷重の精密機械から大荷重用途まで、広い荷重範囲で低い固有振動数が得られ、優れた防振効果が得られます。

製品番号	ゴム硬さ (JIS)	ゴム材質	標準寸法 mm	支持面圧 N/mm ² {kgf/cm ² }	許容面圧 N/mm ² {kgf/cm ² }	用途
RHS-40	40	天然ゴム	240 x 460 x 18t	0.1~0.3 {1~3}	0.4 { 4 }	精密機器等、周囲からの振動を遮断したい場合 軽量機器の防振
RHS-40N		クロロプレンゴム				
RHS-60	60	天然ゴム		0.2~0.4 {2~4}	0.5 { 5 }	特に防振性能を要求される機械
RHS-60N		クロロプレンゴム				
RHS-85	85	天然ゴム		0.2~0.5 {2~5}	0.7 { 7 }	汎用機械 防振性能と安定性の両方を要求される機械
RHS-85N		クロロプレンゴム				
RHS-90	90	天然ゴム		0.2~1.0 {2~10}	1.3 {13}	重量機械および衝撃の大きい機械 安定性を重視する機械
RHS-90N		クロロプレンゴム				

使用温度範囲 標準タイプ RHS-〇〇 天然ゴム -30℃~50℃
耐油タイプ RHS-〇〇N クロロプレンゴム -10℃~70℃

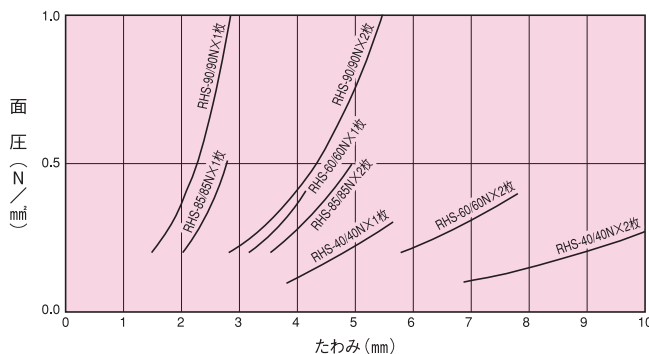
選定手順

1. 機械の用途によりクラパッドの品番を決めます。
2. 選定図により、クラパッドに加えられる面圧を決めます。一般的には安全を見て選定図面圧範囲の中間値を用います。特に防振性能を最優先する時は、最大面圧もしくはそれに近い値を用います。
3. 必要面積の算出

$$\frac{\text{機械荷重 (N)}}{\text{選んだクラパッドの面圧 (N/mm}^2\text{)}} \div 100 = \text{クラパッドの必要面積 (cm}^2\text{)}$$
4. 支持点一ヶ所あたりの所要面積を求めます。

$$\frac{\text{必要面積 (cm}^2\text{)}}{\text{機械の支持点数}} = \text{支持点一ヶ所あたりの所要面積 (cm}^2\text{)}$$
5. クラパッドの寸法を決め、支点の周りに1cm以上余裕を加えて敷いてください。2枚以上重ねて使用する時は間に3mm以上の鋼板を挟んでください。

選定図



使用説明図

